

1. 木質バイオマス関連情報

■NEDO (神奈川)、低炭素社会の実現に向け、新たに「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー (CNF) 関連技術開発」事業で 14 件の研究開発に着手すると発表。植物素材である CNF は、鋼鉄の 1/5 の軽さで 5 倍以上の強度を有するバイオマス由来の高性能素材。NEDO は 2013 年度より木質系バイオマスから得られる CNF を活用するための技術開発を推進してきた。今回の事業で、「革新的 CNF 製造プロセス技術の開発」、「量産効果が期待される CNF 利用技術の開発」、「多様な製品用途に対応した有害性評価手法の開発と安全性評価」を行い、CNF を利用した製品の社会実装・市場拡大を早期に実現し、エネルギー転換・脱炭素化社会を目指す。研究開発テーマ名および実施予定先は既に決定済み。実施期間は 2020 年度～2024 年度 (予定)、2020 年度の予算は 6.6 億円【NEDO : 2020/08/12】

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101344.html

■横河電機 (株) (東京)、スイスの Bloom Biorenewables SA (以下、Bloom) との間で、同社への出資およびバイオエコノミー分野における業務提携に関する契約を締結したと発表。Bloom は、EPFL (スイス連邦工科大学ローザンヌ校) から独立して 2019 年 1 月に設立されたスタートアップ企業。バイオマスを石油の代替品にするというミッションの実現に向け、木材などのバイオマス材料からリグニン (特にモノリグノール) を従来の方法よりもはるかに効率的に抽出できる最新技術の商業化に力を注いでいる。横河電機はこの Bloom の先端技術と、自社の工業生産プロセスの自動化に関する先端技術およびノウハウとグローバルに展開する販売網を活用し、商業化に共同で取り組むとしている【横河電機(株) : 2020/08/20】

<https://www.yokogawa.co.jp/news/press-releases/2020/2020-08-20-ja/>

■間伐材など未利用材を活用する芦別木質バイオマス開発協同組合 (北海道) が 8 月 21 日、芦別市内で臨時総会を開催

し、同日解散した芦別木材協会 (同) を統合した新団体「あしべつ未来の森協同組合」を設立。新組合は芦別、赤平両市の林業、運輸、土木など 11 社と、なかそらち森林組合が加盟。山林に放置された未利用材を活用するバイオマス事業の強化や林業専修学校「道立北の森づくり専門学院」(北海道旭川市) の実習拠点としての支援、情報通信技術を活用したスマート林業の推進などを目指す【北海道新聞 : 2020/08/21】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/452558/>

■日本リテールファンド投資法人 (東京)、「MARINE & WALK YOKOHAMA」における SDGs(Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)の実現に向けて (株) エナリス(東京)と連携し、同施設に供給する電力を実質再生可能エネルギー 100%とする取り組みを開始。MARINE & WALK YOKOHAMA は、神奈川県横浜市の海沿いの倉庫街にあるオープンモール。プロジェクトの推進により、同施設の店舗、共用部で使用する電気は 1 年毎にカーボンオフセットされ、CO2 排出量は実質ゼロとなる。同施設では、今後も出店するテナントと共に持続可能な社会の実現を目指す取り組みを継続していくとのこと【@Press : 2020/08/21】

<https://www.atpress.ne.jp/news/222746>

■佐賀県佐賀市が進めるバイオマス関連事業で、市清掃工場の排ガスから回収する CO2 の販売収入が低迷。2016 年 8 月に稼働した CO2 分離回収装置の整備費は約 14 億円。国の補助金を差し引いた 9 億 5 千万円等を 17 年間の CO2 売却収入で賄う計画だが、16～19 年度は 24 万～283 万円にとどまるなど厳しい状態。売却先は民間の三社。藻類培養を手掛ける (株) アルビータ (佐賀) が運営する工場、JA 全農のキュウリ栽培ハウス、グリーンラボ (株) (福岡) のバジル生産拠点の 3 施設とパイプラインでつながっており、光合成を促す CO2 を提供しているが、使用量が少なく当初の目標に達していない。さらにアルビータが藻類の培養拠点として増設予定の約 21ha の農地を市が約 18 億円をかけて取得・造成した

が、隣接地の地権者との交渉で境界が決まらず、こちらへの売却も遅れている。議会からは「費用対効果が低い事業に税金を投入し続けるのはいかがなものか」との批判の声も

【Yahoo!ニュース：2020/08/23】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ddca5e85b6c5a1830a8a54ab258affdee41cdd52>

■神奈川県松田町、地元の間伐材などを熱源に使う木質バイオマス事業具体化が加速。松田町は環境省の「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業）」を活用し、木質バイオマス資源の資源量、利用可能量の把握や、その設備導入の検討、事業性評価等を実施し、松田町木質バイオマスエネルギー導入計画を策定。また町の健康福祉センターが築22年を超過し、現在使用している灯油ボイラの更新時期が迫っている状況であったことから薪ボイラを導入するための議論を進めてきた。町議会は8月20日に臨時会を開き、事業費を盛り込んだ2020年度一般会計補正予算案を可決。本会議などで町側は詳細な事業内容を明らかにした。総事業費は2,585万円、うち国補助は約1,911万円。来年度の稼働を目指す【神奈川新聞：2020/08/21、2020/08/23、松田町議会：2020/07/30、（一社）環境技術普及促進協会】

<https://www.kanaloco.jp/news/government/entry-447948.html>

<https://www.kanaloco.jp/news/government/entry-450356.html>

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/gikai/r0201teireikaigiroku.html>

<http://www.eta.or.jp/common/pdf/180828/18082805.pdf>

■バイオマスリサーチ（株）（北海道）、北海道信用農業協同組合連合会（北海道）および農林中央金庫（東京）とバイオガス発電の普及に向けた連携協定を締結（8月25日）。バイオガス発電は多額の初期投資がかかり、関係者の多さから融資に二の足を踏む金融機関も少なくない。農協系の金融機関が農業特有のリスクを織り込んだ金融メニューを構築することで、投資を呼び込みやすくしたい考え。三者が連携し、プラント導入を模索している地域を中心とした中で幅広い関係者の協力を得たプロジェクトチームの組成、事業性評価にも取り組み、バイオガスプラントの普及を推進。北海道にて個別事例を成功させ、将来的には全国展開を視野に取り組む

【北海道新聞、バイオマスリサーチ：2020/08/25】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/453676/>

https://biomass-research.net/src/47251166/20200825_%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%82%AC%E3%82%B9%E3%83%97%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%AE%E6%99%AE%E5%8F%8A%E3%81%AB%E3%81%8B%E3%81%8B%E3%82%8B%E9%80%A3%E6%90%BA%E5%8D%94%E5%AE%9A%E3%81%AE%E7%B7%A0%E7%B5%90%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.pdf?v=1591327557000

■（株）三共機械工業（香川）、食品廃棄物などを原料とするバイオマス発電所向けのベルトコンベヤーを開発。液体が染み込みにくいゴム製のコンベヤーを使い、水分を多く含む原料の移動に最適化。コンベヤーに付着する汚れを自動的に取り除く機能を付け、メンテナンスの頻度を減らした【日本経済新聞：2020/08/26】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ063078830W0A820C2LA0000/?ct=ga>

■経産省と農水省、8月27日に「第2回林業・木質バイオマス発電の成長産業化に向けた研究会」を開催。委員となっている各バイオマス関連団体の代表や学識経験者らが、林業・木質バイオマス発電の成長産業化に関わる検討課題や取り組み例を説明する資料を用意し、報告。さらに岡山県真庭市が「広葉樹の活用による自然エネルギー100%のまちづくり」として市の取組を紹介した。今後、事務局がこれまでの議論、検討した結果を基に取りまとめ案を用意し、次回研究会でさらに議論する予定とのこと。次回研究会日程は未定。当日の資料やネットライブ中継（動画）は下記サイトから閲覧可【経産省：2020/08/27】

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/biomass_hatsuden/002.html

■西目屋薪エネルギー（株）（青森県西目屋村）が8月26日、キャンプ用薪「白神の炎」の通信販売を開始。同社は（株）森のエネルギー研究所（東京）の子会社として、同村の森林資源活用政策に合わせ、木質バイオマスエネルギー利用施設に対して薪を供給している。地元民向けストーブ用薪の販売も2017年の創業当初から行っており、ファミリー層、ソロキャンパーそれぞれのスタイルに適した薪の長さや必要

量を提供できるよう、商品を開発したという。薪は同村と周辺地域からナラやブナ等を長さ15~17cm、太さ4cmにそろえ、ミニサイズのたき火台などに合わせる「ソロキャンプ向けミニたき火台用」(5kg=1,860円)や一般的なたき火台に使える長さ30cm、太さ8cmの「キャンプ向け一般サイズ」(10kg=2,470円)などを用意。薪購入者を対象に、焚き付け用の針葉樹材も1本進呈している。送料無料【弘前経済新聞：2020/08/28】

<https://hirosaki.keizai.biz/headline/1539/>

■農水省、「令和元年木質バイオマスエネルギー利用動向調査」の結果を取りまとめ、公表。全国の木質バイオマスエネルギーを利用した発電機及びボイラを有する事業所を対象に実施。令和元年の調査対象事業所数は1,514、うち回収率94.9%にあたる1,437事業所が回答。調査期間は平成31年1月1日から令和元年12月31日までの1年間。調査結果の概要によると、令和元年にエネルギーとして利用された木質バイオマスのうち、木材チップの量は942万3,386tとなり、前年に比べ1.3%増加。このうち「間伐材・林地残材等」に由来する木材チップは302万9,178tで、前年比10.4%増、「製材等残材」に由来する木材チップは171万1,924tで前年比5.3%減、「建設資材廃棄物」に由来する木材チップは406万3,912tで前年比1.1%減となった。詳細は下記サイトを参照【農水省：2020/08/31】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokusitu_biomass/index.html#y

■林野庁、「令和元年の特用林産物の生産動向について」プレスリリース。令和元年の特用林産物の総生産額は2,787億円と昨年と比較し、2.0%減少。非食用特用林産物では木炭が14,406tと前年比2%減、薪が73,739tと前年比3.8%減。詳細は下記サイトを参照【林野庁：2020/08/31】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/tokuyou/200831.html>

■経産省資源エネルギー庁、8月31日に「総合エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会/電力・ガス事業分科会再生可能エネルギー大量導入・次世代ネットワーク小委員会（第19回）基本政策分科会再生可能エネルギー主力電源化制度改革小委員会（第7回）合同会議」をオンラインで開催。2022年4月1日より「電気事業者による再生可能エネルギー電気

の調達に関する特別措置法」が改正され、「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」となるにあたって、FIT制度に加えて新たに「FIP（フィード・イン・プレミアム）制度」の創設等が予定されている。FIP制度は価格が一定で、収入はいつ発電しても同じのFIT制度と違い、補助額（プレミアム）が一定で、収入は市場価格に連動するシステム。大規模太陽光・風力等の競争力ある電源への成長が見込まれるものはFIP制度へ移行される予定で、今回の会議でその詳細設計についての検討が始まった。その他議題となった「長期未稼働案件への対応」では、事務局が失効期間の設定に当たっての考え方として、昨年主力電源化小委員会の議論を踏まえて以下の案を示した。①系統連系着工申込みを行っていない案件は、運開期限の1年後の時点で認定を失効する。②系統連系着工申込みを行った案件は、運開期限に猶予期間として運開期間に当たる年数を加える。③大規模案件に係るファイナンスの特性を踏まえた例外的措置として、開発工事への準備・着手が公的手続によって確認された一定規模以上の案件については、運開期限に猶予期間として調達期間に当たる年数を加える。当日の資料、議事要旨、ネットライブ中継等は下記サイトより閲覧可【OSR No.433：2020/09/02、経産省：2020/09/03】

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/019.html

■NTTグループのエネルギー事業を統括するNTTアノードエナジー（株）（東京）が、フォレストエナジー（株）（東京）と国内木質等バイオマス発電事業における資本業務提携を行うと発表。NTTアノードエナジーが年内にフォレストエナジーに出資するが、出資額や出資率は非公表。フォレストエナジーはSyncraft Engineering GmbH（オーストリア）やVolter Oy（フィンランド）と提携し、中山間地域を対象に間伐材を燃料とするバイオマスエネルギー事業を展開。Syncraftの技術を採用した和歌山県新宮市の発電所（1,760kW）は2020年冬に商業運転開始予定。Volterの設備（1台40kW）は日本で20台以上導入しており、これら設備を活用した市町村の分散型エネルギープランの策定や実施を通じて、環境問題と地域課題の解決を両立した地域レジリエンスの向上に取り組んでいる。NTTアノードエナジーはNTTグループの保有するICT技術・直流給電技術を活用したスマートエネルギー事業を推進する事業推進会社。両者は本提携を通じて国内木質等バイオ

マス発電による再生可能エネルギーの普及・利用拡大を目指し、更には蓄電池やEV等も活用した地域レジリエンス強化、ICT等を組み合わせた地域産業の活性化や産業創出に繋がるスマートエネルギーの新たな事業展開を行い、これら事業モデルの全国展開を目指す【NTTアノードエナジー(株)；

2020/08/31、日本経済新聞：2020/09/02】

<https://www.ntt-ae.co.jp/pdf/press20200831.pdf>

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ063328260S0A900C2X30000/?ct=ga>

■NKCながいグリーンパワー(株)(山形)、同社の木質バイオマスガス化発電設備用に原木を販売してくれる事業者を募集中。発電所では、通常県内および近隣の新潟県、宮城県の未利用材や一般材等(26,000t/年)を用いて、1,480万kWh/年(一般家庭3,000世帯相当)の発電を行っている。三機工業(株)(東京)が発電施設および隣接するチップ製造工場において、ガス化設備・タール燃焼装置などのプラント設備、および空調・衛生・電気設備工事など発電施設に必要な建築設備を担当。2017年7月より営業運転を開始している【NKCながいグリーンパワー(株)：2020/09/02、三機工業(株)】

<https://www.nkc->

[nagaigp.co.jp/index.php/2020/09/02/genbokuwohanbaitadakerujigyosyasamanobosyuu/](https://www.nkc-nagaigp.co.jp/index.php/2020/09/02/genbokuwohanbaitadakerujigyosyasamanobosyuu/)

<https://www.sanki.co.jp/service/technology/article/detail181.html>

■イーレックス(株)(東京)、新潟東港周辺(新潟県聖籠町)に世界最大級(出力300MW規模)のバイオマス発電所建設へ。現在、東北電力(株)(宮城)との系統接続における最終的な調整段階に。イーレックスは場所を明らかにしていないが、地元関係者の話によると、かつて石油精製施設の誘致を進めていたものの断念した新潟サンライズゴルフコース(同町)がある土地の可能性が高いとのこと。イーレックスは、2019年3月20日、ロシア政府との間で200万t/年のバイオマス燃料の輸入に関する覚書を締結。同年3月28日にはロシアから最も近い立地の優位性と県知事からの積極的な招致を受け、新潟県を日本最大のバイオマス発電所の候補地の一つとして検討を開始すると発表している。また、自社ホームページの「発電事業」のサイトには、「日本初のFITに頼らない出力300MW規模の大型バイオマス発電所の建設を計画

し、2025年度中の営業運転開始を目指しています。」と記載している。関係者の話によると、これが新潟東港のバイオマス発電所である可能性が高いという。同社による今回の建設による設備投資額は約1,000億円の見込み。別の地元関係者は「当社ではロシアから燃料である木材チップを輸入する計画。木材チップが定期的に運搬されれば、懸案のロシア極東・新潟間の横断定期航路が実現することになる」と話す

【新潟経済新聞：2020/09/04、イーレックス(株)：2019/03/28】

<https://www.nikkei.jp/41855/>

https://www.erec.co.jp/news/pdf/Niigata_Attraction_v3.pdf

<http://www.erec.co.jp/business/power-generation/>

■三菱マテリアル(株)(東京)の連結子会社「ニューエナジーふじみ野(株)」（埼玉、以下「NEFC」）、2019年7月より建設を進めてきたプラントが営業運転を開始したと発表。

NEFCは食品工場や小売店等の食品関連事業者から排出される食品廃棄物を40t/日処理し、得られたバイオガスを用いて発電(出力550kW)する。発電した電力はFITを通じて売電する【三菱マテリアル(株)：2020/09/04】

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/news/press/2020/20-0904.html>

■京都府舞鶴市、「喜多地区パーム油バイオマス発電所計画にかかる喜多地区環境保全委員会からの質問書に対する回答について」を公表。舞鶴グリーン・イニシアティブス合同会社(舞鶴市)が喜多港湾用地で立地を検討していたパーム油を燃料とするバイオマス発電所に関する舞鶴市の説明資料に対し、6月13日に開催した喜多地区、日立造船(株)(大阪)、舞鶴市の3者による公開協議の場で喜多地区環境保全委員会が質問書を提示。これについて日立造船(株)にも確認の上、市が最終的な見解を示した。同合同会社は7月1日に解散手続きに入り、9月末には完了予定。FIT認定IDは6月29日に経産省に廃止届を提出済み。この決定に伴い、日立造船も同計画にかかる建設・運営・保守の受託を断念する旨、7月10日に表明【京都府舞鶴市：2020/09/07】

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shigoto/0000007131.html>

■テス・エンジニアリング(株)(大阪)、9月2日に熊本県錦町と木質バイオマス発電事業所の設置に向けて「進出協定」

を締結。事業所名は「TESS 錦町木上西バイオマス発電事業所」、熊本県球磨郡錦町大字木上西字上杉 2 番 101 外に建設する計画。発電出力は 1,995kW、2023 年 1 月操業開始予定【テス・エンジニアリング(株)；2020/09/08】

<https://www.tess-eng.co.jp/news/20200908.html>

■長野県伊那市、農業や林業など第 1 次産業の振興に向け、研究や実践を行う「産学官連携拠点」の整備を検討へ。新型コロナウイルスの感染拡大により都市部への過度な集中に対する危機感が強まり、地方への期待が高まる中、森林や農産物などの地域資源を活用し、地方の自立に結び付ける狙い。建設候補地は市営住宅大萱団地跡地（約 4,000 m²）。市によると連携拠点では農業、林業、環境、発酵、健康長寿などをキーワードに、信大農学部の研究成果を活用。地域の持続可能性を実現する新たな仕事の創出（起業）と働く場の確保（雇用創出）につなげるとともに、全国から農業、食品産業、林業、木材産業などに関わる多様な人材が集まるような仕組みをつくる。また森林資源の活用を目指す市 50 年の森林ビジョンに基づき、国、県、企業、林業先進国などと連携し、森林整備、林業・木材産業振興、木質バイオマスの普及、CO2 削減、脱プラスチックなど、市が進める取り組みを促進する

【Nagano Nippo Web：2020/09/08】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/67024>

■（公社）国土緑化推進機構（東京）、森林づくり活動を行う市民団体と、森林や木材を活用して経営課題の解決に取り組む企業向けに、2 種類の『SDGs ハンドブック』を作成。SDGs の目的や取り組むべきことが具体的に解説されている。同機構のホームページから PDF のダウンロード可【日本林業調査会：2020/09/09、（公社）国土緑化推進機構】

<http://www.j-fic.com/news/%e5%9b%bd%e5%9c%9f%e7%b7%91%e6%8e%a8%e3%81%8c%ef%bc%92%e3%81%a4%e3%81%ae%e3%80%8e%ef%bd%93%ef%bd%84%ef%bd%87%ef%bd%93%e3%83%8f%e3%83%b3%e3%83%89%e3%83%96%e3%83%83%e3%82%af%e3%80%8f%e3%82%92%e4%bd%9c.html>

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>

■廃棄物処理などを手掛ける(株)ログ（群馬）、福島県伊達市梁川町の「やながわ工業団地」内にバイオマス発電所建設

へ。敷地面積は約 4 万 6,300 m²。発電量は最大で 14,200kW/h を想定。木材のチップなどを燃料として使い、東北電力（株）に売電する。総事業費は 80 億円の見込み【福島民友新聞：2020/09/09】

<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20200909-534657.php>

■みんな電力（株）（東京）、市原バイオマス発電（株）（千葉）の協力を得て、新型コロナの影響を受ける千葉県市原市内の飲食店を対象に 2020 年 10 月分、11 月分の電気料金無料キャンペーンを実施。両社が電力の売買契約を締結し、市原バイオマス発電が試運転での発電を開始するにあたり、発電所が所在する市原市民の役に立てることがないかを両社で検討した結果実施することに。市原市が取組む「#食べよういちばら」キャンペーンに申し込んでいることや、みんな電力と既に低圧法人契約をしている、もしくは申込受付期間の 9 月 30 日までに契約していること、新型コロナウイルス感染拡大を受け、売上に影響が出ているといった条件を満たしている飲食店が対象となる【みんな電力（株）：2020/09/09】

<https://minden.co.jp/personal/news/2020/09/09/2871>

■（一財）日本森林林業振興会（東京）、「令和 2 年度森林林業振興助成事業」の選考結果について公表。新規 10 件、継続 1 件の計 11 件が応募。うち、「木質バイオマス利用と森林・林業に関するタブレット教材作成事業」で申請した（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）を含む新規 6 件、継続 1 件の合計 7 件が採択された。事業期間は令和 2 年 7 月～令和 3 年 6 月まで【（一財）日本森林林業振興会：2020/09/10】

<http://www.center-green.or.jp/jff/jyosei/2020/jyosei20200910.pdf>

■環境省、中央環境審議会気候変動影響評価等小委員会（第 21 回）に、日本における気候変動影響の評価報告書案を提示（9 月 9 日）。自然災害や健康、産業など全 7 分野の 71 項目を評価対象としたもの。それによると、科学的知見の充実により、69%の 49 項目が「特に重大な影響が認められる」、また 54%の 38 項目が「緊急性が高い」とされたことなどから、今回の評価結果は「気候変動による影響が重大かつ緊急であることを示している」と強調。中環審は早ければ 11 月に

も報告書を答申した後、政府がそれを踏まえ、21年度に気候変動適応計画を改定する方針【環境新聞：2020/09/16、環境省：2020/09/09】

<http://www.kankyo-news.co.jp/ps/qn/guest/news/showbody.cgi?CCODE=50&NCODE=636>

https://www.env.go.jp/council/06earth/02_11.html

■経産省、9月17日に総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会新エネルギー小委員会バイオマス持続可能性ワーキンググループ（第7回）を開催。議題は①バイオマス発電燃料の持続可能性に係る第三者認証スキームの追加について、②認証機関・海外政府ヒアリング。2019年度の間整理ではRSPOとRSBの2認証が採用されているが、インドネシア持続的パーム油認証制度（ISPO）、マレーシア持続可能なパーム油認証制度（MSPO）、ISCC認証、GGL認証、PKS第三者認証創設準備委員会による認証など追加希望が事務局に寄せられており、今回の会合で各認証団体からのヒアリングを実施。その結果を踏まえ、個別認証への適用について検討・整理を行い、第三者認証追加について、調達価格等算定委員会に報告することとなっている。当日資料、ネットライブ中継は下記サイトより閲覧可【OSR No.435：

2020/09/16、経産省：2020/09/17】

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinenergy/biomass_sus_wg/007.html

■静岡県浜松市天竜区の佐久間地域でバイオマス発電を活用して地域活性化を図る事業「夢プロジェクトさくま」の実現に向けた協議が進行中。同地域の活性化に取り組むNPO法人「がんばらまいか佐久間」を中心に、市や佐久間森林組合など15団体で協議体を組織。まずは5年後を目途に、拠点としている旧佐久間中学校跡地でバイオマス発電に取り掛かる。協議体に所属する電源開発（株）（東京）からダム流木、JA遠州中央（静岡）からもみ殻の提供を受けるなど地域の企業と連携するほか、森林組合からは未利用材を集めて地域資源を活用。発電で生み出された熱は温浴施設で活かしたり、熱や電気を施設園芸の栽培に活用したりすることを検討している。市役所で9月17日にセレモニーがあり、関係者が事業の成功に向けて誓いを立てた【中日新聞：2020/09/18】

<https://www.chunichi.co.jp/article/122769>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■（株）エンビプロ・ホールディングス（静岡）、2023年のPKSおよび木質ペレット燃料取扱量を20万t/年まで増やす方針。2020年の同社取扱量が2万t/年であるため、10倍となる量。8月21日の2020年6月期決算説明の中で発表。同社は2020年の国内バイオマス燃料（PKS、ペレットの合計）需要を415万tと推計。これがバイオマス発電のニーズなどで2023年に1,060万t（市場規模1,600億円）まで増えると見通しており、ペレット、PKSの集荷拠点の拡大、海外木質ペレット製造工場の検討などで需要増を取り込む構え【リム情報開発（株）：2020/08/24、（株）エンビプロ・ホールディングス：2020/08/21】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1549242.html>

<https://www.envipro.jp/news/topics/news-1508/>

■北海道林業木材課（北海道）、「令和2年度木質バイオマス資源活用促進事業（木質ペレット普及促進事業）委託業務」随意契約結果を公表。契約先は北海道木質ペレット推進協議会（同）。本契約の業務は「消費者及び流通業者等の団体と連携を図り、木質ペレット・薪の流通方法を改善することなどにより消費者の利便性向上を図ることで、木質ペレット等の需要拡大につながるもの」。契約金額は254万円【北海道：2020/08/25】

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/grp/baio/R2pelletkeiyakukekka.pdf>

■東京ガス（株）（東京）100%出資子会社のプロミネットパワー（株）（東京）が、Equis（エクイス）グループが運営するファンドが保有する、伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社（富山県高岡市）および市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社（千葉県市原市）の2社の取得を決定。取得金額は不明、9月中旬取

得予定。伏木万葉埠頭バイオマス発電合同会社が建設中の「伏木万葉埠頭バイオマス発電所」(発電出力：約 5.1 万 kW) は、2021 年 10 月に商業運転開始予定。また、市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社が開発中の「市原八幡埠頭バイオマス発電所」(2020 年 10 月着工予定、発電出力：7.5 万 kW) は、2024 年 1 月に商業運転開始を予定している。両発電所共、主燃料は木質ペレット。2 社を取得することにより、東京ガスグループの再生可能エネルギー電源取扱量は約 12.6 万 kW 増加し、130 万 kW を超える予定。市原八幡埠頭バイオマス発電所ではオーナーエンジニアリング業務および O&M 業務を東京ガス 100% 出資子会社である東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)(東京)が担う【東京ガス(株)：2020/08/26】

<https://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20200826-01.html>

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1549487.html>

■(有)東京ペレット(東京)、日本初上陸のプレミアム・ストーブ『ペレットグリル&ガーデンライト/Pellet Grill and Ambient Light』の先行予約販売受付を 8 月 27 日に開始。製造元はドイツの Karl-Heinz Haussler(ホイズラー)社。ペレットグリルの素材はステンレスとガラスで寸法は高さ 115cm×幅 60cm。グリルプレートの材質は鋳鉄、グリルの直径は 44 cm。重量は 39 kg。バーベキューのディナー後には、360 度円筒のカラスに囲まれた美しい炎を眺めてのガーデンライトとしても楽しめるため、冬はもちろん、一年中活躍できる。燃料は木質ペレットのみで電源は不要。燃焼時間の目安は 1~3 時間。本体価格は 35 万円(税別)。数量限定入荷のため予約注文となっており、9 月末より出荷開始とのこと【PR TIMES：2020/08/27】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000061267.html>

■長野県伊那市、市営住宅若宮団地高齢者向け住宅の竣工式を現地で開催(8月26日)。老朽化した若宮団地の建て替え事業の第1弾として昨年9月に着工。木造平屋建てで、延べ床面積は約1,100㎡。単身向け(1LDK、約33㎡)14戸、2人向け(2DK、約40㎡)6戸の設計。180㎡の共用スペースも確保し、地域交流や世代間交流に活用できる。市50年の森林ビジョンに基づき、柱や内装に地域産材を使用するとともに、暖房用に薪ストーブやペレットボイラを設置。施設の愛称は「センシオーネ」。南アルプスの仙丈ヶ岳と塩見岳を結ぶ稜線「仙塩尾根」

を思わせる建物の外観が由来。総事業費は約4億8,700万円。設計・監理を(株)環境計画、建築工事を西武建工(株)、電気設備工事を(有)林電機商会、機械設備工事とペレットボイラ設置工事を清野建設(株)と、いずれも伊那市内の事業者が請け負った。今後は、若者・子育て住宅、一般公営住宅、既存住宅のリフォーム住宅にエリアを分け、順次建設する予定【Nagano Nippo Web：2020/08/27、伊那市：2020/08/26】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/66526>

<http://www.inacity.jp/smph/koho/photonews/photelibrary020826.html>

■三井物産(株)(東京)と北海道電力(株)(北海道)が出資する北海道バイオマスエネルギー(株)(北海道)、未利用材集荷量を増やし、木質ペレット生産量を増強。来年6月の商業運転を目指している北海道石狩郡当別町の新プラント向けの燃料供給体制を構築する【日刊木材新聞社：2020/08/27】

https://jfpi.jp/mokuzai_news/10436

■林野庁、「特用林産物生産統計調査」により令和元年の木質ペレットの生産量等を取りまとめ、公表。生産量は前年から1.6万t増の14.7万t(対前年比112.1%)に。工場数は前年から7工場減の147工場となった。用途別では「燃料用」がほとんどを占め、14.2万t(構成比96.7%)に。一方、木質ペレットの輸入では、ベトナムからが昨年の37.4万tから88.7万tと大幅に増加し、輸入量全体の約55%を占め、ここ数年1位が続いていたカナダを抜いた。カナダからの輸入量は59万t。その他ではタイ、マレーシアからの輸入が増加傾向。輸入量が全体で前年比52.3%増の161.4万tとなったため、国内生産量は昨年より増加したものの、自給率は前年比2.6ポイント減の8.4%に下落。木質ペレットの代替燃料として競合関係にあるPKSの輸入量は増加傾向を維持しており、前年比29.5%増の163.9万t。主な輸入先はインドネシアとマレーシア。資料は下記サイトから閲覧可【林野庁：2020/08/31】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/200831.html>

■東洋エンジニアリング(株)(千葉、以下「TOYO」)、市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社(東京)が千葉県市原市に計画する75,000kWバイオマス発電所建設プロジェクトを受注したと発表。同発電設備は、再熱方式を採用した高効率なバイオマス専焼発電設備で、TOYOは発電設備一式の設計、機器資材調達、

建設工事、試運転までの EPC 業務を一括請負で実施する。同プロジェクトはこれまでに受注した茨城県、富山県、鳥取県、北海道、愛知県、における 50MW 級バイオマス発電所プロジェクト、及び静岡県における 75MW 級バイオマス発電所プロジェクトに続き、同社が取組むバイオマス専焼発電所の第 7 号目の案件。完成は 2023 年の予定【東洋エンジニアリング(株)：2020/09/02】

<https://www.toyo-eng.com/jp/ja/company/news/?n=757>

■出光興産(株)(東京)、100%子会社の出光オーストラリアリソース(オーストラリア)を通じ、同国クイーンズランド州にある既存のエンシャム石炭鉱山遊休地、用役設備等を活用して、石炭と混焼が可能なバイオマス発電燃料用植物の植生試験及び木質ペレット化試験を開始。同プロジェクトで栽培するのは「ソルガム」。降雨量が少ない当該エリアでの生育に適しており、7月までに順調な生育が確認されて収穫し、ソルガムの木質ペレット化試験を実施中。2020 年後半には木質ペレットの半炭化(ブラックペレット化)試験を予定。ブラックペレットは、従来の木質ペレットに比べて耐水性・粉砕性に優れ、石炭と同様に取り扱いができるため、石炭火力発電における CO₂ 排出量低減が期待できるとしている。同プロジェクトは、当地が石炭の輸出基地に加え、バイオマス発電燃料の大規模商業輸出基地となる可能性があるとして、クイーンズランド州政府から 2 万豪ドルの補助金を受託している【出光興産(株)：2020/09/03】

https://www.idss.co.jp/news/2020/200903_1.html

■石川県加賀市のストーブ燃料製造会社「かがペレット木楽屋」で、建物が全焼する火災が発生。9月6日午後10時20分頃出火し、ストーブのペレット燃料を製造する作業所2棟が全焼したほか、近くの車両など一部が燃え、火は約1時間後に消し止められた。出火当時従業員は建物の中におらず、けが人はなし。警察と消防が翌日から出火原因を調査【livedoor NEWS：2020/09/07】

<https://news.livedoor.com/article/detail/18857028/>

■シーメンス・エナジー(株)(東京)、東洋エンジニアリング(株)から新たに蒸気タービンと関連製品を受注。受注した機器は、発電出力75,000kWの蒸気タービン、発電機、周辺機器。市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社が2024年に千

葉県市原市で営業運転開始予定のバイオマス発電所で活用される予定【シーメンス・エナジー(株)：2020/09/11】

<https://new.siemens.com/jp/ja/kigyou-jouhou/press/pr-se-20200911.html>

■福島県桑折町の電気工事業(株)ACDC、9月19日に同県伊達市梁川町の同社の伊達支社1階にペレットストーブと薪ストーブの展示・販売を行う「ペレットマン伊達」をオープン。同社は、化石燃料依存からの脱却を事業理念としていることから、再生可能エネルギーを使うストーブの普及を図る。スペースには常時国内製造、イタリア製のストーブ7~8台を展示し、燃焼体験なども行う予定。「コロナ対策のためご来店は予約制」とのこと【福島民友新聞：2020/09/14、(株)ACDC：2020/9月】

<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20200914-536228.php>

<http://acdc.jp/%e3%83%9a%e3%83%ac%e3%83%83%e3%83%88%e3%82%b9%e3%83%88%e3%83%bc%e3%83%96%e3%81%ae%382%b7%e3%83%a7%e3%83%bc%e3%83%ab%e3%83%bc%e3%83%a0%e9%96%8b%e8%a8%ad%e3%80%8c%e3%83%9a%e3%83%ac%e3%83%83%e3%83%88/>

■JFEグループ、地球規模の気候変動問題の解決を重要なESG課題の一つと位置付け、同社グループとしてのCO₂削減目標を掲げることを決定。具体的にはグループのCO₂排出量の大部分を占める鉄鋼事業において、2030年度のCO₂排出量を2013年度比20%以上削減することを目指す。エンジニアリング事業においては、廃棄物やバイオマスによる発電、太陽光・地熱発電などの再生可能エネルギー事業により約400万t/年のCO₂削減に貢献しており、この取り組みをさらに拡大していく。商社事業では再生可能エネルギー市場においてバイオマス発電燃料であるPKSや木質ペレットの供給にも注力しており、このような幅広い取り組みを通じて低炭素社会の実現に向けて貢献していくとしている【JFEホールディングス(株)：2020/09/15】

<https://www.jfe-holdings.co.jp/release/2020/09/200915.html>

■米農務省によると、米国の7月の木質ペレットの輸出量は64万3,727tとなり、前年同月比42.6%増。前月比では5.9%減。日本向けは4月以降、ゼロが続いている【リム情報開発(株)：2020/09/16】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1551283.html>

■(株) 渡会電機土木(山形)、オリジナル製品の、屋外で活躍するペレットバーナー「imony(イモニー)」を発売中。外形寸法は W29 cm×D24 cm×H50 cm、重量は約 6kg で、持ち運び便利なコンパクトサイズ。木質ペレット約 1kg で約 1 時間燃焼可能。五徳が本体のトップにセットされていて、山形名物の「芋煮会」やキャンプに便利。電源は USB 電源 (typeA)。モバイル

バッテリー(別途)が使用可能で容量 12,000Amh で最大 24 時間可動なため、非常時の調理や暖を取るためのストーブなどにも使用できるようになっている。色もカラフルで赤色、オレンジ、黄色、緑色、茶色の 5 色用意。インターネットショッピングモール「楽天市場」でも購入できるよう、紹介されている【(株) 渡会電機土木:2020 年】

<http://www.watarai-ec.co.jp/pelletstove.html>

3. イベント情報(国内)

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。
※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎: 木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■(一社) 長野県環境保全協会 パネル展「気候変動と生物多様性を考えよう～VR でのぞこう 近未来の地球～」
2020 年 10 月 1 日(木)～8 日(木)
ギャラリープラザ長野(長野県長野市 82 プラザ長野内)
<http://nace.main.jp/info/2020/09/07123011/>

■キノマチプロジェクト「まちと森がいかしあう社会をつくる『キノマチ大会議』」
2020 年 10 月 5 日(月)～9 日(金)
オンライン(Zoom の「ウェビナー」形式で配信)
<https://www.sankei.com/economy/news/200907/prl2009070476-n1.html>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク第 188 回研究会「2019-2020 年のバイオマス利用の最新動向」
2020 年 10 月 6 日(火)
ZOOM によるオンライン開催
<https://www.npobin.net/>

■NPO 法人環境会議所東北「みなおしてみませんか! 事務所の省エネ対策」

2020 年 10 月 6 日(火)
宮城県自治会館 209 会議室(宮城県)
<https://www.kk-tohoku.or.jp/event2020/shoueneseminar2020>

■NEDO「Japan-Asia CCUS Forum 2020」
2020 年 10 月 6 日(火)
オンライン開催
https://www.nedo.go.jp/events/EV_100056.html

■気候変動イニシアティブ(JCI)「気候変動アクション日本サミット 2020」
2020 年 10 月 13 日(火)
オンライン開催
<https://japanclimate.org/news-topics/jcas2020/>

■経産省、他「カーボンリサイクル産学官国際会議 2020」
2020 年 10 月 13 日(火)
WEB 開催
<https://carbon-recycling2020.go.jp/>

■BioJapan 組織委員会「Bio Japan 2020」
2020 年 10 月 14 日(水)～16 日(金)
パシフィコ横浜(神奈川)
<https://www.ics-expo.jp/biojapan/ja/>

■北海道、他「地域内木質バイオマス利用セミナー～小型の木質バイオマスボイラー導入に向けて～」
2020 年 10 月 15 日(木)
パワスポ留萌留萌地域人材開発センター木工系実習室(北海道)

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/03_biomass/baioseminar2.htm

■NPO 法人農都会議バイオマスアカデミー「出版記念講演会『実務で使うバイオマス熱利用の理論と実践～木質バイオマス熱利用のさらなる拡大をめざして～』

2020年10月15日(木)

日比谷コンベンションホール(大ホール)(東京都千代田区)

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/322>

■(一社)緑の循環認証会議、他「SGEC/PEFC 森林認証フォーラム2020“ポストコロナに向けた社会づくりのための企業の役割～森林認証の可能性～”

2020年10月16日(金)

全国都市会館第1会議室(東京都千代田区)※Zoomにてオンライン参加も可能

<https://sgec-pefc.jp/2020/09/11/forum20201016/>

■NPO 法人環境会議所東北「みなおしてみませんか!工場施設の省エネ対策」

2020年10月20日(火)

宮城県庁舎13階環境生活部会議室(宮城県)

<https://www.kk-tohoku.or.jp/event2020/shoueneseminar2020>

■NPO 法人農都会議 バイオマスWG/農都交流・地域支援G「林業・木質バイオマス発電の持続可能性を考える～木質バイオマスエネルギー利用の方向性」オンライン勉強会/WEBセミナー

2020年10月26日(月)

オンライン開催

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/323>

■(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク(SGN) グリーン経済フォーラム2020「ポスト・コロナの世界を再生する『グリーンリカバリー』」

2020年10月29日(木)

Zoom利用のオンライン・セミナー

<https://www.shigagpn.gr.jp/news/111>

◎CMT「11th Biomass Pellets Trade & Power 第11回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

2020年11月4日(水)～6日(金)

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V200501&>

■NPO 法人環境会議所東北「みなおしてみませんか!工場施設の省エネ対策」

2020年11月5日(木)

宮城県庁舎13階環境生活部会議室(宮城県)

<https://www.kk-tohoku.or.jp/event2020/shoueneseminar2020>

■バイオマスエキスポ事務局「バイオマスエキスポ2020」

2020年11月11日(水)～13日(金)

東京ビッグサイト青海展示棟(「アグロ・イノベーション2020」内、東京都江東区)

<https://www.biomassexpo.info/expo/>

■(公社)環境生活文化機構「2020年度持続可能な社会づくり活動表彰式」

2020年11月24日(火)

<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■(一社)サステナブル経営推進機構、他「エコプロ2020『持続可能な社会の実現に向けて』」

2020年11月26日(木)～28日(土)

東京ビッグサイト西ホール(東京都江東区)

<https://eco-pro.com/2020/>

■(公社)国土緑化推進機構、他「『森林からはじまるエコライフ展2020』～森と木で拓くSDGsの提案～」

2020年11月26日(木)～28日(土)

東京ビッグサイト西ホール(東京都江東区)(エコプロ2020会場内)

<https://eco->

[pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf](https://eco-pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf)

■林業経済学会 2020年秋季大会

2020年12月1日(火)～10日(木)

WEB上での開催

http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES_2020_Fall/2020_fall.html

■（一社）省エネルギーセンター「第45回地球環境とエネルギーの調和展 ENEX2021」

2020年12月9日（水）～11日（金）

東京ビッグサイト南1・2ホール&会議棟（東京都江東区）

<https://www.low-cf.jp/east/>

■再生可能エネルギー協議会「第15回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」

2020年12月9日（水）～11日（金）

東京ビッグサイト南1・2ホール

<http://www.renewableenergy.jp/2020/index.html>

■（一財）新エネルギー財団「令和2年度『新エネ大賞』表彰式」

2021年1月26日（火）

日本記者クラブ（日本プレスセンタービル10階ホールABC）（東京都千代田区）

https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r02.html

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2021年3月3日（水）～5日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日報ビジネス（株）「2021 NEW 環境展」 「2021 地球温暖化防止展」

2021年3月17日（水）～19日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.nippo.co.jp/n-expo021/>

◎日本ペレットストーブ工業会「第2回 JAPAN PELLETSTOVE SHOW in Nagoya」 / 2021 年度総会

2021年5月（予定）

愛知県名古屋市

◎12th Biomass Pellet Trade & Power Summit

2021年5月17日（月）～20日（木）

東京

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=210501&>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会（ISAP2020）」

2021年5月23日（日）～28日（金）

つくば国際会議場（茨城県つくば市）

<https://isap2020-phycology.org/index.html>

■（公社）国土緑化推進機構、島根県「第71回全国植樹祭」

2021年5月30日（日）

大田市三瓶山北の原（島根県）

<https://www.syokujusai-shimane2020.jp/news/2020/08/71-71-330.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2021年9月29日（水）～10月1日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2022年3月2日（水）～4日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2022年9月28日（水）～30日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2023年3月1日（水）～3日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/>

[ght_eventcalendar](#)

■ECOMONDO The Green Technology EXPO

2020年11月3日(火)～6日(金)

リミニ(イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

■All Energy 2020

2020年11月4日(水)～5日(木)

グラスゴー(スコットランド)

<https://www.all-energy.co.uk/register>

■Future of Biogas Europe 2020

2020年11月11日(水)～12日(木)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■2nd Global Biofuels

2020年11月17日(火)～18日(水)

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V201126&>

■European Bioenergy Future 2020

2020年11月17日(火)～19日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/159-european-bioenergy-future-ebf-2020.html>

■European Biosolids & Organic Resources Conference

2020年11月24日(火)～25日(水)

オンライン

<http://european-biosolids.com/>

■POLLUTEC

2020年12月1日(火)～4日(金)

リヨン(フランス)

<https://www.pollutec.com/en/home/>

■Renewable Energy India 2020

2020年12月10日(木)～12日(土)

ノイダ(インド)

<https://www.renewableenergyindiaexpo.com/>

■Fuels of The Future 2021

2021年1月18日(月)～19日(火)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.fuels-of-the-future.com/>

■POWERGEN INDIA

2021年1月27日(水)～29日(金)

ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■6th Biomass Trade & Power Europe

2021年2月3日(水)～4日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=210202&>

■Lignofuels 2021

2021年2月10日(水)～11日(木)

ヘルシンキ(フィンランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/lignocellulosic-fuel-conference-europe/>

◎European Pellet Conference 2021

2021年2月24日(水)～25日(木)

ヴェルス(オーストリア)

<https://www.wsed.at/en/programme/european-pellet-conference.html>

■World Sustainable Energy Days 2021

2021年2月24日(水)～26日(金)

ヴェルス(オーストリア)

<https://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎International Biomass CONGRESS & EXPO

2021年3月23日(火)～24日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php

©13th Biofuels International Conference & Expo

2021年3月23日(火)～24日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php

■International Biogas Congress & Expo

2021年3月23日(火)～24日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php

■7th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2020

2021年4月14日(水)～15日(木)

ヴァイマル(ドイツ)

<http://regatec.org/>

■The 12th PALMEX Indonesia 2021

2021年4月20日(火)～22日(木)

メダン(インドネシア)

<http://palmoilexpo.com/>

■Elmia Wood

2021年5月18日(火)～21日(金)

ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/wood/>

■BBEST 2020

2021年5月24日(月)～26日(水)

サンパウロ(ブラジル)

<http://bbest-biofuture.org/v2/>

■RWM & Future Resource 2021

2021年9月22日(水)～23日(木)

バーミンガム(UK)

<https://www.rwmexhibition.com/>

■International Conference Progress in Biogas 2021

2021年9月22日(水)～24日(金)

シュトゥットガルト(ドイツ)

<https://ibbk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2021年9月

キエフ(ウクライナ)

<https://uabioconf.org/en/>

5. 2020年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

※前号までに掲載した情報はホームページの「導入補助情報まとめ」に載せていますので、そちらをご覧ください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◆北見市「木質ペレットストーブ等導入支援事業補助金」

<http://www.city.kitami.lg.jp/docs/2014052600024/>

※募集期間延長

【岩手県】

◆葛巻町「エコ・エネ総合対策事業費補助金」

<https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/docs/2015111900178/>

※「くずまき商品券」で補助金を交付

【宮城県】

◆南三陸町「南三陸町木質バイオマスエネルギー活用推進事業費補助金」

<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/7,0,30.html>

【新潟県】

◇十日町市「再生可能エネルギー活用促進費補助金」(追加募集)

<http://www.city.tokamachi.lg.jp/boshu/1585094345974.html>

※予算額 60 万円の範囲内で交付

【長野県】

◇伊那市「伊那市山林資源活用機器設置補助金」

https://www.inacity.jp/sangyo_noringyo/noringyo/ringyo/mokus-hitsubaiomasu/makistove.html

◆上田市「ペレットストーブ等補助金」

<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/sinrin/1469.html>

◆辰野町「ペレットストーブ購入の補助金」

<http://www.town.tatsuno.lg.jp/pellet.html>

【鳥取県】

◇南部町「南部町木質ペレットストーブ等購入費補助金」

<https://www.town.nanbu.tottori.jp/photolib/kikaku/5732.pdf>

6. 公募等情報（締切順）

■NEDO「2020 年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」に係る第 2 回公募について」

締切 2020 年 10 月 9 日（金）

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100276.html

■（一社）飯田自然エネルギー大学「第 3 期生追加募集」

募集期間 2020 年 9 月 1（火）～10 月 16 日（金）

<http://ohisama-energy.co.jp/2020/09/02/3th-addition/>

■（公財）SOMPO 環境財団「環境保全プロジェクト助成」

締切 2020 年 10 月 31 日（土）

<https://www.sompo-ef.org/project/project.html>

■（公財）コメリ緑育成財団「第 31 回コメリ緑資金」

公募期間 2020 年 8 月 1 日（土）～10 月 31 日（土）

<http://www.komeri-midori.org/koubo/guide.html>

■栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2020 年 6 月 1 日（月）～11 月 6 日（金）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurih-ojyo.html>

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和 2 年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集対象期間 2020 年 5 月 7 日（木）～12 月 25 日（金）

<http://www.eco-hyogo.jp/index.php/global-warming/tyuushou2020/>

■大阪府茨木市「省エネ・省 CO2 設備導入事業補助制度」

募集期間 2020 年 4 月 13 日（月）～12 月 25 日（金）

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/jigyousya/gomi/47154.html>

■奈良県「令和 2 年度事業所エネルギー効率的利用推進事業補助金」

募集期間 2020 年 5 月 19 日（火）～12 月 28 日（月）

<http://www.pref.nara.jp/33062.htm>

■神奈川県川崎市「市内事業者エコ化支援事業」

募集期間 ～2021 年 1 月 15 日（金）

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000116071.html>

■埼玉県本庄市「本庄市事業所用エネルギーシステム導入事業補助金」

受付開始 2020 年 4 月 1 日（水）※2021 年 2 月 26 日（金）までに実績報告書が提出できるよう申請

http://www.city.honjo.lg.jp/business_sangyo/kigyoyuchi/1396333634935.html

■神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」

申請書提出期限 2021 年 2 月 26 日（金）

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/incentivefee.html>

■鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2020 年 4 月 1 日（水）～2021 年 2 月 28 日（日）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

■鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー発電事業支援補助金」
募集期間 2020年4月1日(水)～2021年2月28日(日)
<https://www.pref.tottori.lg.jp/204033.htm>

■兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備導入費用を助成」
受付期間 2020年4月1日(水)～2021年3月16日(火)
<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/shiminseikatsu/seikatsueisei/tantojoho/shinenerugi/1515747696234.html>

■京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」
計画認定申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)
<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/nintaiseidogaiyou.pdf>

■東京都「地産地消型再エネ増強プロジェクト」
申請受付期間 2020年8月3日(月)～2021年3月31日(水)
<https://www.tokyo-co2down.jp/company/subsidy/chisan-zokyo/index.html>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」
受付期間 2017年4月1日(土)～2022年3月31日(木)
<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■静岡県富士市「令和2年度中小企業者温暖化対策事業費補助金」
受付期間 2021年3月末
<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/sp/kurashi/c0903/rn2ola000000cn7d.html>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」
事業期間 2014年度～2023年度
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」
http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」
<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■(公財)日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」
https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyouritt>

[igaido.html](#)

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>